

平成26年度3月補正予算の概要

平成27年3月萩市議会定例会

平成27年2月

萩市総務部財政課

■ 今回補正する会計及び各会計の補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（40事業のうち新規26事業）、国民健康保険事業（事業勘定）特別会計（2事業）、国民健康保険事業（直診勘定）特別会計（財源振替）、介護保険事業特別会計（1事業）、病院事業会計（1事業）の5会計で、全44事業（うち新規26事業）です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	今回の補正予算額
一般会計	第5号	2億3,150万2千円
国民健康保険事業（事業勘定）特別会計	第3号	1億6,841万6千円
国民健康保険事業（直診勘定）特別会計	第2号	（財源振替）－
介護保険事業特別会計	第3号	110万9千円
一般会計＋特別会計の補正予算額 計		4億102万7千円

病院事業会計（資本的支出）	第2号	1,807万5千円
企業会計の補正予算額 計		1,807万5千円

■ 一般会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を受けた国の補正予算（1号）に呼応するものとなっています。

この経済対策により、『地域住民生活等緊急支援のための交付金』として、地方の消費喚起や生活支援としての「消費喚起・生活支援型」（2,500億円）と地方版総合戦略の早期かつ有効な策定とこれに関する施策の実施を支援する「地方創生先行型」（1,700億円）の2つの交付金が創設されています。

このため、萩市ではこの交付金を活用するため、平成27年度当初予算に計上予定であった地方創生関連事業について一部前倒しを行い、地方創生のための施策を迅速かつ着実に実行できるよう、今回の補正予算により対応するものです。

このほか、地方創生交付金対象事業以外の国の補正予算関連事業、燃料費の高騰に伴いまあるバスの運行経費を助成する事業、県の補助金の交付を受けたことから漁港の改修を行う事業、スクールバスの購入により運行経費を抑制する事業など、市勢の発展及び市民の生活を守るために必要な事業を計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
374 億 4,140 万 2 千円	2 億 3,150 万 2 千円	376 億 7,290 万 4 千円

※今回の補正は、全40事業（うち新規26事業）

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
地方交付税	1 億 1,618 万円	普通交付税
分担金及び負担金	△1,985 万 7 千円	負担金
国庫支出金	2 億 52 万 5 千円	
県支出金	1,591 万円	
繰入金	4,071 万 2 千円	基金繰入金
諸収入	43 万 2 千円	雑入
市債	△1 億 2,240 万円	
合 計	2 億 3,150 万 2 千円	

4.地域住民生活等緊急支援のための交付金の創設

「まち・ひと・しごと創生本部」が平成26年度国の補正予算（1号）において、2種類の交付金を措置しました。

①地方消費喚起・生活支援型 交付限度額 1億1,867万5千円

目的：地方公共団体が実施する、地域における消費喚起策やこれに直接効果を有する生活支援策に対し、国が支援する。

萩市が取り組む事業の予算計上額 1億2,748万円

【地方消費喚起型】

- ・プレミアム付商品券発行支援事業……………8,896万円（P 8）

【生活支援型】

- ・多子世帯生活支援事業……………550万円（P 7）
- ・後期高齢者生活支援事業……………3,302万円（P 8）

②地方創生先行型 交付限度額 7,936万1千円

目的：地方公共団体による地方版総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良施策等の実施に対し、国が支援する。

萩市が取り組む事業の予算計上額 1億6,660万8千円

【地方創生先行型】

- ・萩市総合戦略策定事業……………1,000万円（P 4）
- ・萩暮らし体験ツアー開催事業……………24万5千円（P 5）
- ・空き家情報バンクホームページ改修事業……………249万5千円（P 5）
- ・萩暮らし応援事業……………980万円（P 6）
- ・シオパーク推進事業……………1,367万円（P 7）
- ・児童クラブ地域人材活用事業……………146万9千円（P 9）
- ・子ども医療費助成事業……………1,540万9千円（P 9）
- ・地域ブランド柑きつ育成事業……………24万2千円（P10）
- ・農山漁村女性企業育成支援事業……………51万6千円（P11）
- ・農産物等直売施設整備費支援事業……………1,000万円（P11）
- ・魚食普及施設計画策定事業……………288万8千円（P12）
- ・須佐男命いかブランド化推進事業……………214万円（P13）
- ・活イカ水槽海水温対策支援事業……………800万円（P13）
- ・萩市産品開発販路拡大支援事業……………408万円（P14）
- ・農産物等移動販売車両購入費支援事業……………200万円（P15）
- ・シティセールス開催支援事業……………500万円（P15）
- ・萩観光映像技術活用支援事業……………1,040万4千円（P16）
- ・旅行関係事業者招へい支援事業……………350万円（P16）
- ・世界遺産観光活用事業……………4,942万円（P17）
- ・空き家データベース化事業……………766万円（P18）
- ・高等学校生徒通学費支援事業……………767万円（P19）

5. 歳出予算の主な事業内容

◆＜新規＞萩市総合戦略策定事業（1,000万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 12 ページ 企画費】
（担当課：企画政策課）

地方創生関連法の成立に伴い、市町村において、「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定が努力義務とされました。萩市においても、人口の現状及び将来の展望並びに地域の実情に応じた5か年の施策の方向を検討し、萩市版「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定します。

計画期間：平成 27～31 年度

主な経費：○策定委員報酬
○印刷製本費
○人口動向等調査分析業務委託料 など

[財源内訳] 総務費国庫補助金 476万3千円
一般財源 523万7千円

※なお、この事業の予算計上に併せて、目的が重複する平成 26 年度当初予算に計上した「萩市将来展望」を改定しようとする「総合計画策定事業（108万8千円）」の予算を減額します。

◆＜新規＞情報通信網強じん化事業（2,067万9千円）

【予算説明書13ページ 総合情報施設費】
（担当課：情報政策課）

平成27年1月に紫福地区で発生した火災により、光ケーブルが焼失し、むつみ、須佐、田万川地域の情報ネットワークが遮断されました。この教訓を生かし、放送・通信網切断による情報遮断を回避するため、萩市役所～福栄総合情報センター間を複線化します。
なお、国の補正予算（1号）を活用して行います。

[財源内訳] 総務費国庫補助金 1,009万8千円
市債 950万円
一般財源 108万1千円

◆<新規>萩暮らし体験ツアー開催事業（24万5千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 13 ページ 地域調整費】
（担当課：企画政策課）

萩への移住を促進するため、移住を希望する都市部の方を対象として、萩ならではの地域資源を活用した体験プログラムなどを組み入れた萩暮らし体験ツアーを実施します。

事業内容：お試し暮らし体験ツアーの実施（1泊2日）

都市部の住民を対象とし、萩市の空き家バンクに登録された物件巡りや各地域の自然、歴史、農林水産物などの資源を活用した体験などによる萩暮らし体験ツアーを実施します。

経費内訳：○体験活動講師謝金 5万円
○バス借上料 19万5千円

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 11万7千円
一般財源 12万8千円

◆<新規>空き家情報バンクホームページ改修事業（249万5千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 13 ページ 地域調整費】
（担当課：企画政策課）

萩市への移住希望者が、空き家情報バンクのホームページを利用して希望条件に合う住まいを容易に探すことができるよう、検索機能や地図情報を追加するなど、空き家情報バンクのホームページを充実します。

事業内容：空き家情報バンクホームページのリニューアル

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 118万8千円
一般財源 130万7千円

◆<新規>萩暮らし応援事業（980万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 13 ページ 地域調整費】
（担当課：企画政策課）

市内の空き家物件を活用し、若い世代による萩市へのUJターンを支援するため、空き家の改修や賃借に対して支援を行います。

事業内容：

○空き家の改修

UJターン者が、市内の空き家物件を自らの居住用として購入して改修する場合に、修繕費用の一部を支援します。

○空き家の賃貸

UJターン者が、市内の空き家物件を賃借した場合に、家賃の一部を支援します。

[財源内訳] 総務費国庫補助金 466万8千円
一般財源 513万2千円

◆旧萩藩校明倫館跡地（旧明倫小学校）保存整備事業（8,620万円）

【予算説明書 13 ページ 旧萩藩校明倫館活用推進費】
（担当課：企画政策課）

新たな観光拠点となる旧明倫小学校校舎の保存整備事業において、国の補助金の追加により、2棟目の保存整備を前倒して予算化するため、必要な経費を追加計上します。
なお、併せて本館棟及び2棟目の事業費について、3か年の継続費の設定を行います。

事業内容：2棟目の保存整備

[財源内訳] 総務費国庫補助金 3,216万6千円
合併特例基金繰入金 500万円
市債 4,650万円
一般財源 253万4千円

◆ジオパーク推進事業（1,367万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 13 ページ ジオパーク推進費】
（担当課：企画政策課）

平成 28 年度の日本ジオパーク認定を目指し、市民と一体となって萩ジオパーク構想を推進するため、構想の周知を図るとともに協議会組織を立ち上げ、「火山に育まれた萩の大地 3 億年の歴史を学び、今に活かし、未来へ伝える」取組を推進します。

なお、平成 27 年度当初予算において、推進員の設置及びジオパーク関連施設の整備に係る経費を計上しています。

- 事業内容：○認定に向けた申請書の作成
○ジオサイト（見どころ）の詳細調査
○ジオサイトの整備計画の策定
○モニターツアーの実施
○ガイドの養成 など

[財源内訳] 総務費国庫補助金 651 万 2 千円
一般財源 715 万 8 千円

◆＜新規＞多子世帯生活支援事業（550万円）

地方創生（生活支援型）

【予算説明書 14 ページ 消費喚起・生活支援交付金費】
（担当課：子育て支援課）

中学生以下の子どもが 3 人以上の世帯（450 世帯）に対し、萩市共通商品券 1 万円分を配布します。（ただし、児童手当の所得制限限度額以上の方を除く。）

- 事業内容：○配布金額 450 万円（1 万円×450 世帯（見込））
○臨時職員賃金 34 万円
○事務費 66 万円

[財源内訳] 総務費国庫補助金 512 万円
一般財源 38 万円

◆<新規>後期高齢者生活支援事業（3,302万円）

地方創生（生活支援型）

【予算説明書 14 ページ 消費喚起・生活支援交付金費】
（担当課：福祉政策課）

75 歳以上の後期高齢者の方で、市民税均等割が課税されていない方に、萩市共通商品券 5 千円分を配布します。（ただし、課税者に扶養されている方及び生活保護費受給者を除く。）

事業内容：○配布金額 3,000 万円（5 千円×6,000 人（見込））
○臨時職員賃金 102 万円
○事務費 200 万円

[財源内訳] 総務費国庫補助金 3,073 万 9 千円
一般財源 228 万 1 千円

◆<新規>プレミアム付商品券発行支援事業（8,896万円）

地方創生（消費喚起型）

【予算説明書 14 ページ 消費喚起・生活支援交付金費】
（担当課：商工振興・企業誘致推進課）

消費喚起策として、プレミアム付萩市共通商品券の発行を支援します。

事業内容：○発行セット数 40,000 セット（1 セット 12 枚綴）
○プレミアム額 2,000 円
○1 セット額面 12,000 円
○販売価格 10,000 円
○発行額面 4 億 8,000 万円
○プレミアム総額 8,000 万円

販売計画：○発売から 1 か月間は 1 世帯 1 セットまでの販売とする。
全世帯に商品券引換ハガキを送付し、ハガキで商品券を購入
○交換期限は 1 か月間
期限経過後は 1 世帯 3 セット（予定）まで購入可能となります。

[財源内訳] 総務費国庫補助金 8,281 万 6 千円
一般財源 614 万 4 千円

◆<新規>児童クラブ地域人材活用事業（146万9千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書16ページ 児童福祉総務費】
（担当課：子育て支援課）

多くの子どもたちの放課後の居場所となる「児童クラブ」において、お年寄りを招いて新たに「学びの場」などをつくることで、子どもとお年寄りの世代間交流活動を促進します。

活動内容：○夏休みの宿題応援
○漢字の学習
○昔遊びの伝承
○お菓子づくり など

実施回数：全19クラブで年間100回実施を目標

[財源内訳] 民生費国庫補助金 70万円
一般財源 76万9千円

◆<新規>子ども医療費助成事業（1,540万9千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書16ページ 児童措置費】
（担当課：子育て支援課）

平成27年8月から、さらなる子育て世帯への経済的負担軽減を図るため、これまでの医療費助成を拡充して、新たに小学生への医療費助成を開始します。

なお、今回の拡充分については、一部負担金を設けます。

事業内容：○対象世帯 父母の市民税所得割額の合計 136,700円以下の世帯
○対象者数 小学生 1,600人（見込み）
○一部負担金 通院1 医療機関当たり 月1,000円
入院1 医療機関当たり 月2,000円
（保険薬局については負担なし）

[財源内訳] 民生費国庫補助金 734万円
一般財源 806万9千円

◆医療従事者確保事業補助金返還事業（43万2千円）

【予算説明書16ページ 保健衛生総務費】
（担当課：地域医療推進課）

医療従事者確保のため修学資金の支給を受けた方が、支給要件を満たさなくなり、修学資金の返還があったことから、財源である山口県の地域医療再生基金に返還します。

事業内容：山口県に43万2千円返還します。

准看護学生修学資金

平成24年度分 21万6千円

平成25年度分 21万6千円

〔財源内訳〕 雑入 43万2千円

◆＜新規＞地域ブランド柑きつ育成事業（24万2千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書17ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

萩産柑きつの知名度の向上と産地再生を目指し、高品質のアメリカ産柑きつの導入や萩市内に残存する夏みかんの原種を再生することで、萩の地域ブランド柑きつとして育成します。

事業内容：柑きつの定植及び育成

〔財源内訳〕 農林水産業費国庫補助金 11万5千円
一般財源 12万7千円

◆＜新規＞農山漁村女性企業育成支援事業（51万6千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書17ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

農山漁村女性企業等の経営拡大を支援するため、県の県産農林水産物の製品加工機器等の整備費を対象とした助成制度に併せて市が支援することで、初期投資の負担を軽減するとともに農山漁村女性による企業等を支援します。

事業主体：木間地区農山漁村女性団体

総事業費：155万円

負担割合：市 1/3、県 1/3、事業主体 1/3

[財源内訳] 農林水産業費国庫補助金 24万6千円
一般財源 27万円

◆＜新規＞農産物等直売施設整備費支援事業（1,000万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 17 ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

安全・安心で新鮮な農畜産物の提供を図るため、「地産地消の拠点」、「コミュニティの拠点」、「食と農に関する情報発信の拠点」と位置付け、JAあぶらんど萩が新たに展開するファーマーズマーケットの設備整備に係る経費を支援します。

設備等整備費：2,064万7千円（うち萩市負担額 1,000万円）

負担割合：1/2に相当する額（上限額 1,000万円）

[財源内訳] 農林水産業費国庫補助金 476万3千円
一般財源 523万7千円

◆機構集積協力金交付事業（1,239万2千円）

【予算説明書17ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

今後の地域農業のあり方等を決める「人・農地プラン」を作成した地域のうち、農地中間管理機構にまとめた農地を貸し付けた地域及び農家に対して協力金を交付していますが、交付対象者の増加により、当初予算計上額を超えることが見込まれることから、必要な経費を追加計上します。

事業内容：機構集積協力交付金の追加計上

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 1,239万2千円

◆＜新規＞魚食普及施設計画策定事業（288万8千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書17ページ 水産業振興費】
（担当課：水産課）

新たな観光拠点と位置付ける旧明倫小学校校舎の本館棟において、観光客等を対象とした魚食の普及を図る施設等の開設を予定していることから、計画の策定等を行います。

事業内容：魚食普及施設等の計画策定 など

[財源内訳] 農林水産業費国庫補助金 137万6千円
一般財源 151万2千円

◆須佐男命いかブランド化推進事業（214万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 17 ページ 水産業振興費】
（担当課：水産課）

須佐地域の特産である活イカ「須佐男命^{みこと}いか」のブランド化を推進するため、必要な経費を支援します。

- 事業内容：○須佐男命いか祭り実行委員会への補助 99万円
○須佐男命いかブランド化推進委員会への補助 15万円
○須佐湾「遊・食・学」まるごと交流事業への補助＜新規＞ 100万円
広島、山口県内山陽エリアの都市住民を対象に、日本海側ならではの須佐湾「遊・食・学」体験交流プランモニターツアーを実施します。

遊・・・イカ釣り漁船で須佐湾を周遊する漁船体験プラン
食・・・「須佐男命いか」を素材に「イカ飯づくり」体験プラン
学・・・日本地質百選「須佐ホルンフェルス」学習プラン

〔財源内訳〕 農林水産業費国庫補助金 101万9千円
一般財源 112万1千円

◆＜新規＞活イカ水槽海水温対策支援事業（800万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 17 ページ 水産業振興費】
（担当課：水産課）

須佐地区一本釣船団は、「須佐男命^{みこと}いか」のブランド化に取り組んでいますが、近年、夏場の海水温が上昇し、イカの蓄養水槽で生かすことが困難となっていることから、活イカでの出荷に支障をきたしています。そこで夏場の海水温対策に必要な設備に係る経費を支援します。

- 事業内容：活イカ水槽海水温対策事業への補助
低温海水確保のための井戸新設
海水配管設備の整備 など

〔財源内訳〕 農林水産業費国庫補助金 381万1千円
一般財源 418万9千円

◆<新規>三見漁港改修事業（500万円）

【予算説明書 17 ページ 漁港管理費】
（担当課：水産課）

漁業者の作業負担の軽減を図るため、三見漁港における漁具干場の舗装を実施します。

事業内容：舗装工 面積 1,470 m²

〔財源内訳〕 農林水産業費県補助金 250 万円
一般財源 250 万円

◆<新規>萩市産品開発販路拡大支援事業（408万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 18 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工振興・企業誘致推進課）

萩にあるもの、萩にしかないものをいかした優良かつ独自性のある萩市産品を首都圏等の大消費地へPRし、販路の拡大を目指します。また、急速冷凍装置（CAS：セル・アライブ・システム）を購入し、新たな商品開発の取組及び6次産業化を促進させます。

事業内容：○急速冷凍装置（CAS）の購入
○有名シェフ・有識者による商品・メニュー開発・改良
○展示会・イベント等参加による販路開拓
○高度技術を活用した流通開発 など

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 194 万 3 千円
一般財源 213 万 7 千円

◆まあーるバス運行事業（200万円）

【予算説明書 18 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工振興・企業誘致推進課）

萩循環まあーるバスの運行事業において、年度当初からの燃料費の高騰により運行経費が増加していることから、市が負担する費用について増額します。

〔財源内訳〕 一般財源 200 万円

◆＜新規＞農産物等移動販売車両購入費支援事業（200万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 18 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工振興・企業誘致推進課）

むつみ地域の農産物加工販売施設「こいこいがんこ村」で実施している移動販売事業において、使用している車両が老朽化により更新が必要となっています。高齢化が進展する中山間地域の買い手弱者を支援するため、車両購入に係る経費を支援します。

事業主体：農産物加工販売むつみ会

総事業費：200万円（うち萩市負担額 200万円）

[財源内訳] 商工費国庫補助金 95万3千円
一般財源 104万7千円

◆＜新規＞シティセールス開催支援事業（500万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 18 ページ 企業誘致推進費】
（担当課：商工振興・企業誘致推進課）

NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の放映や世界遺産登録に向けて、萩市が注目される絶好の機会であることから、本社機能の移転や工場建設等を検討している企業や移住希望者などを対象として、萩の豊かな歴史・文化・自然などの魅力を発信し、萩市を積極的に売り込むシティセールスの開催に係る経費を支援します。

事業内容：山縣有朋のゆかりの地であり東京都内屈指の会場である椿山荘において、萩シティセールスを行います。

[財源内訳] 商工費国庫補助金 238万2千円
一般財源 261万8千円

◆<新規>萩観光映像技術活用支援事業（1,040万4千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 18 ページ 観光振興費】
（担当課：観光課）

スマートフォンの急速な普及が進む中、萩観光の新たな需要の創出に向けて、AR（拡張現実技術）※等の最先端映像技術を活用した観光案内を行う観光アプリ等を制作します。

事業主体：萩観光映像技術活用プロジェクト実行委員会（仮称）

事業内容：○ AR技術を活用した観光アプリの開発
○ 幕末の志士立体映像の制作

※AR（拡張現実技術）

現実の世界に仮想的なものを重ね合わせる技術で、さまざまな端末を使用して擬似的に見せることができる。

[財源内訳] 商工費国庫補助金 495万6千円
一般財源 544万8千円

◆<新規>旅行関係事業者招へい支援事業（350万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 18 ページ 観光振興費】
（担当課：観光課）

在京、在阪の旅行エージェント等を招へいし、市内主要観光地の視察・体験ツアー等を実施することで、萩観光のPR及び誘客促進を図ります。

実施主体：萩市観光協会

開催時期：秋以降2回開催予定

参加人数：20人程度/回

[財源内訳] 商工費国庫補助金 166万7千円
一般財源 183万3千円

◆＜新規＞世界遺産観光活用事業（4,942万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 18 ページから 観光振興施設費】
（担当課：観光課）

萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡及び大板山たたら製鉄遺跡の世界遺産登録を見据え、観光客の受入体制の整備を行います。

- 事業内容：○シャトルバスの運行
- ・萩シーマート ⇄ 恵美須ヶ鼻造船所跡 ⇄ 萩反射炉
 - ・道の駅ハピネスふくえ ⇄ 大板山たたら製鉄遺跡
- 萩反射炉の駐車場及び仮設公衆トイレの整備
- 誘導標識等の設置
- パンフレットの作成 など

[財源内訳] 商工費国庫補助金 2,354万円
一般財源 2,588万円

◆＜新規＞観光地等公衆無線LAN環境整備事業（486万6千円）

【予算説明書 19 ページ 観光振興施設費】
（担当課：観光課）

世界遺産登録や外国クルーズ船の寄港回数の増加が見込まれていることから、外国人観光客の利便性の向上を図るため、主要観光地や道の駅等に無料の公衆無線LAN（Wi-Fi）環境を整備します。

なお、国の補正予算（1号）を活用して行います。

- 事業内容：無料公衆無線LANの設置
- 市内主要観光地 9か所
中央公園、松陰神社、萩城跡・指月公園、東萩駅観光案内所、萩反射炉、萩博物館、萩城城下町、旧萩藩校明倫館、恵美須ヶ鼻造船所跡
 - 道の駅 5か所
萩シーマート、萩往還、うり坊の郷 katamata あさひ、ハピネスふくえ

※萩・さんさん三見及びゆとりパークたまがわは国土交通省が整備

[財源内訳] 商工費国庫補助金 210万5千円
市債 260万円
一般財源 16万1千円

◆<新規>空き家データベース化事業（766万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 19 ページ 住宅管理費】
（担当課：建築課）

「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成 26 年 11 月に公布され、「空家等対策計画」の作成など、空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進することとされたことに伴い、空き家の正確な情報を把握するため、データベースの整備を行います。

事業内容：○市内全域の空き家の実態調査
○空き家のデータベース化

〔財源内訳〕 土木費国庫補助金 364 万 9 千円
一般財源 401 万 1 千円

◆補助金返還事業（5,424 万 4 千円）

【予算説明書 19 ページ 住宅建設費】
（担当課：建築課）

無田ヶ原口団地D棟整備事業を平成 25 年度及び 26 年度の 2 か年で実施していますが、平成 25 年度の社会資本整備交付金の確定に伴い、国からの超過交付分を返還します。

〔財源内訳〕 一般財源 5,424 万 4 千円

◆通信指令施設整備事業（△1 億 9,467 万 6 千円）

【予算説明書 20 ページ 消防施設費】
（担当課：消防本部警防課）

消防救急無線のデジタル化（平成 24 年度整備）に合わせ、通信指令装置の更新を行います。

当初予算計上時に、平成 26 年度及び 27 年度の 2 か年での債務負担行為の設定を行っていますが、事業進捗の遅れから 2 年度間の事業費割合の変更を行い、不用となる平成 26 年度の事業費を減額し、平成 27 年度当初予算で計上します。

〔財源内訳〕 消防費負担金 △1,985 万 7 千円
市債 △1 億 7,480 万円
一般財源 △1 万 9 千円

◆＜新規＞高等学校生徒通学費支援事業（767万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 20 ページ 事務局費】
（担当課：教育委員会総務課）

少子化と高等学校進学が多様化が進展する中、市内の生徒が地元の高等学校へ進学しやすい環境整備を図るため、通学費の助成を行います。

対象者：市内に居住し、市内の高等学校及び奈古高等学校へ通学する生徒の保護者
※ただし、下記の①又は②に該当するものは除く。

- ①離島高校生修学支援費を受給している者
- ②市町村民税所得割額が 30 万 4,200 円（年収 910 万円程度）以上の世帯

対象生徒数見込み：約 180 人

助成内容：通学定期券購入費

- ・月額 10,000 円未満の場合
⇒1 月定期代から 5,000 円を引いた額
- ・月額 10,000 円以上の場合
⇒1 月定期代に 1 / 2 を乗じた額（上限額 10,000 円／月）

※ただし、年間支給上限月数は 10 か月とし、
1 月当たりの助成額が 1,000 円未満の場合は対象外

〔財源内訳〕 教育費国庫補助金 365 万 3 千円
一般財源 401 万 7 千円

◆＜新規＞スクールバス購入事業（682 万 9 千円）

【予算説明書 21 ページ 中学校管理費】
（担当課：教育委員会総務課）

田万川中学校の生徒を送迎しているスクールバスは、委託先のバスを借上げて運行していますが、貸切バスの運賃・料金制度のガイドラインが見直され、来年度の委託料が大幅に増額される見込みであることから、バスを購入することで運行委託料の増加を抑制します。

事業内容：田万川中学校スクールバスの購入 1 台

〔財源内訳〕 市債 670 万円
一般財源 12 万 9 千円

■ 国民健康保険事業（事業勘定）特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、医療費の伸びが当初の見込みを上回ることから、保険給付費の増額及びこれに伴う財源調整を行うものです。また、市内の直営診療施設の財源として交付されている国の交付金については、この事業勘定特別会計の歳入で受け入れ、国民健康保険事業（直診勘定）特別会計へ歳出として繰出しています。この交付金の算定基準が改正される予定であることから、必要な経費の補正を行うものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
74 億 9,184 万 3 千円	1 億 6,841 万 6 千円	76 億 6,025 万 9 千円

※今回の補正は、全 2 事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	9,422 万 3 千円	
療養給付費等交付金	△3,047 万 9 千円	
前期高齢者交付金	2,706 万 4 千円	
県支出金	744 万円	県補助金
繰入金	7,016 万 8 千円	
合計	1 億 6,841 万 6 千円	

4. 歳出予算の事業内容

◆保険給付事業（1億5,573万4千円）

【予算説明書 37 ページ 各療養費】
（担当課：市民課）

平成 26 年度は、医療費の伸びの鈍化を見込んで保険料を引き下げましたが、医療費の伸びが当初の見込みを上回ることから、保険給付費の増額及びこれに伴う財源調整を行います。

[財源内訳] 療養給付費等負担金（国庫負担金） 7,254 万 3 千円
財政調整交付金（国庫補助金） 899 万 8 千円
療養給付費等交付金 △3,047 万 9 千円
前期高齢者交付金 2,706 万 4 千円
財政調整交付金（県補助金） 744 万円
一般会計繰入金 748 万 1 千円
基金繰入金 6,268 万 7 千円

◆国民健康保険事業（直診勘定）特別会計繰出金事業（1,268万2千円）

【予算説明書 38 ページ 直営診療施設勘定繰出金】
（担当課：市民課）

市内の直営診療施設の財源として交付されている国の調整交付金については、この事業勘定特別会計の歳入で受け入れ、国民健康保険事業（直診勘定）特別会計へ歳出として繰出しています。平成 27 年 3 月末に国の調整交付金算定基準が改正される予定であることから、必要な経費の補正を行います。

[財源内訳] 財政調整交付金（国庫補助金） 1,268 万 2 千円

■ 国民健康保険事業（直診勘定）特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、前ページ記載の国民健康保険事業（事業勘定）特別会計からの繰出金の受け入れに伴い、一般会計からの繰入金との財源調整を行うものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
7億5,171万7千円	—	7億5,171万7千円

※今回の補正は、財源振替

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
繰入金（一般会計繰入金）	△1,268万2千円	一般会計繰入金
繰入金（事業勘定繰入金）	1,268万2千円	国民健康保険事業（事業勘定）特別会計繰入金

4. 歳出予算の事業内容

財源振替のため、歳出予算補正はありません。

■ 介護保険事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、平成 27 年度の介護保険制度改正に伴い、必要となる介護保険電算システムの改修に係る経費の補正を行うものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
67 億 6,878 万 6 千円	110 万 9 千円	67 億 6,989 万 5 千円

※今回の補正は、全 1 事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	55 万 4 千円	国庫補助金
繰入金	55 万 5 千円	一般会計繰入金
合計	110 万 9 千円	

4. 歳出予算の事業内容

◆介護保険電算システム改修事業（110 万 9 千円）

【予算説明書 48 ページ 一般管理費】
（担当課：介護保険課）

平成 27 年度の介護保険制度改正に伴い、必要となる電算システムの改修に係る経費を補正します。

- 事業内容：○介護報酬の改定
○一定以上の所得者の利用者負担の見直し（1 割⇒2 割）及び高額介護サービス費の見直し
○介護予防・日常生活支援総合事業の実施及び予防給付の見直し
○有料老人ホームであるサービス付き高齢者向け住宅への住所地特例の適用 など

[財源内訳] 事務費補助金（国庫補助金） 55 万 4 千円
一般会計繰入金 55 万 5 千円

■ 病院事業会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、企業債償還金の調整を行うものです。

2. 補正予算額

区 分	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
資本的支出	3億 6,253万 1千円	1,807万 5千円	3億 8,060万 6千円

※今回の補正は、全1事業

3. 歳出予算の事業内容

◆企業債償還事業（1,807万 5千円）

【補正予算書 2 ページ 企業債償還金】
（担当：萩市民病院）

企業債の償還金について不足が見込まれるため、必要な経費を追加計上します。

[財源内訳] 過年度分損益勘定留保資金 1,807万 5千円